



中国管区・管区教化センター

一体の布教教化体制確立

統 監 長 岡 徹 宗

昭和四十一年中村内局が、家庭仏法の実践をめざし「三尊仏奉祀運動」を提唱されました。爾来、歴代内局に受継がれ、「総授戒運動」「坐禅運動」と展開し、今年はその総決算ともいべき「合掌礼拝運動」が強く提唱され、全宗門僧俗一体となつての、一大家庭教化路線の確立が期待されることになりました。

たまたま、これに呼応するように、今年二月二十三日、「定例教化センター運営委員会」（各宗務所長とセンター職員で構成）が、本庁教化部布

教課雨宮課長来臨のもとに、松江市で開かれました。その席上、澤管区長老師を初め各宗務所長老師よりの誠意ある御提案により、「今後管区内布教教化事業は、管区・宗務所・教化センターが一体となつて、その実をあげるべく、お互に協力支援する」ことが議決されたのであります。この「管区・センターの一体化」は、本部布教と地方布教の接点となり、当管区布教化面の一大飛躍のための、画期的出来事であります。

こうした実動方針に基く行事計画の、ユニークな一端を御照会申しあげ、各位の積極的参画御支援を希うものであります。

一、講習会・研修会  
●管内青少年教化員研修会  
本庁教化部主催  
六月中旬 一泊二日  
於 広島宗務所管内  
宗制青少年教化規程第十三条に基く、研修会で受講者全員に、修了証が下付されます。詳細後日該当者に連絡します。

●管区内布教師養成講習会  
管区・センター共催  
六十三年三月一日～二日 一泊二日  
於 島一宗務所管内  
中国管区布教講習会と関連したもので、宗門布教師の素質の向上をはかり、特に初心者で将来布教を志す宗侶を対象とし、すぐ明日の布教に役立つ内容にしたいと念願しております。修了証下付。

●集中伝道  
五月下旬 島一宗務所管区  
十一月月上旬 山口宗務所管内  
各々集中伝道を実施します。格別の御協力御支援を、お願い致します。

●第三回洋上セミナー子供禅のつどい  
七月二十一日～二十三日 二泊三日

管区・センター共催  
於 広島県宮島  
今年度は、山陰地方の子供の便誼をはかり、宮島で開催します。

チャーター船での二時間の船旅、愛嬌者のラッコで有名な水族館見学等も予定しております。  
特にこの行事は、青少年教化員、寺族、徒弟研修も兼ねています。参加者全員に修了証を下付します。

●第一回管区禅を聞く会  
十月十七日  
管区・センター共催  
於 岡山宗務所管内  
近年本庁教化部主催の「禅を聞く会」が大都市で挙行され、大変なブームをよんでおります。当管区でもこれに呼応して、「禅話」と「椅子坐禅」を中心とした「禅を聞く会」を岡山管内で開催いたします。

今後、山陽、山陰を交互に実施し、民衆にとけこんだ、禅の興揚の一端としたいと思っております。  
●ビデオ教材の作製  
昨年「生禅のしかた」ビデオを製作しましたが、引き続き各種ビデオ教材製作に取り組み予定です。



教化センター昭和62年度行事計画

(昭和62年4月1日～昭和63年3月31日)

| 月  | 日        | 行 事                           | 場 所       | 備 考                        |
|----|----------|-------------------------------|-----------|----------------------------|
| 4  | 上旬       | 教化センター便り第3号発刊                 |           | 管区報を兼ねる                    |
|    | 9~11(土)  | 全国センター職員 中央研修会                | 宗 務 庁     |                            |
|    | 21(火)    | 管内テレホン法話開設寺院連絡会               | セ ン タ ー   | 岡山①広島③山口④鳥取④島根②            |
| 5  | 8(金)     | 管区布教師・センター派遣布教師会<br>企画委員連絡協議会 | セ ン タ ー   | 次年度行事計画立案<br>企画委員は各宗務所教化主事 |
|    | 下旬       | 島根県第一宗務所管内 集中伝道               | 島 I 宗務所管内 |                            |
| 6  | 11-12(金) | 管区内青少年教化員研修会                  | セ ン タ ー   | 本庁主催                       |
|    | 24(水)    | 洋上セミナー子供禅の集い役員会               | セ ン タ ー   |                            |
| 7  | 21-23(木) | 第3回洋上セミナー子供禅の集い               | 宮 島       | 管区・センター共催                  |
|    | 25-27(月) | 第32回松江禅の集い                    | 松 江       | 管内徒弟研修・青少年教化員実地研修          |
| 8  |          |                               |           |                            |
| 9  | 上旬       | 子供参禅指導のてびき                    |           |                            |
|    |          |                               |           |                            |
| 10 | 17(土)    | 管区 禅を聞く会(第一回)                 | 岡 山       | 法話・椅子坐禅等                   |
|    |          |                               |           |                            |
| 11 | 上旬       | 山口県宗務所管内 集中伝道                 | 山口宗務所管内   |                            |
|    | 9-10(火)  | 全国センター職員 自主研修会                | 九 州       |                            |
| 12 |          |                               |           |                            |
| 1  | 下旬       | 管区布教師・センター派遣布教師会<br>企画委員連絡協議会 | セ ン タ ー   |                            |
|    |          |                               |           |                            |
| 2  | 下旬       | センター運営委員会                     |           | 管内布教委員長とセンター職員             |
|    |          |                               |           |                            |
| 3  | 1-2(水)   | 布教師養成講習会                      | 島 I 管内    | 管区・センター共催                  |
|    | 上旬       | 教化センター便り第4号製作企画               |           |                            |

管区長就任の御挨拶



中国管区長 島根県第二宗務所長 澤 眞 教

澤 眞 教

昭和六十一年十月の宗務所長改選に当り、はからずも伊藤所長老師の後任として推挙を受け、浅学非才を省りみず所長を拝命しました。

前所長伊藤老師は十三年の長きにわたり、管内二〇〇ヶ寺の信望を一身に集められ、その温厚な人柄は宗内の一致和合となり、幾多の輝やかなしい業績をあげてこられました。特に、布教化の面の充実、梅花講の飛躍的な伸びは顕著であります。そのあとを受けて、果して宗務行政の円滑な発展を維持出来るか危惧の念大であります。全力を尽くして重責を果す覚悟でございます。

幸い、教区長各位の強力な援助のもとに、種々の新しい要望も受けましたので、教区と不離一体の斬新な宗務所として飛躍したいと念願しております。

職員にも実行力に富んだ若手の参加を得ましたので、幸先よい出発と

なりました。

業務の発展には何よりも経費の確立が望まれますので、予算の倍額を提案しておるところであります。

現在、日本は急速な高齢化が進んでおりますが、特に島根県は全国一の老人県であります。長寿の社会の中で重要となる生涯教育に対して、仏教は如何に対応するかが今後の大きな問題と存じます。

布教化の向上発展のため、僧侶寺族の研修に力を注ぎ、青年僧侶の中央研修、曹青会の活動強化に努めたいと考えております。

所長交替と同時に、宗務所も替るのが多いのですが、当宗務所は過去約二十年間にわたり引続いておりますので、管内寺院にも周知されているのが強みであります。今後共気安く来所しやすい、親しまれる宗務所として努力いたしたく存じております。そのためにも今年度から「宗

務所報」の発行も企画したいと考えております。

宗務所長改選に伴い、中国管区長も拝命することとなりました。

今後二ケ年間、重責を負わねばなりません。管内各宗務所長老師の格別な御協力を得て、精一杯努力いたす念願でございますので、この誌上をかりて御挨拶申し上げます。

中国管区の教化の拠点となる「中国管区教化センター」との協力態勢を一層密にして、管内の教化の充実を計るべく、今年度より新たな発足をみることにいたしました。

その一つは、補助金五十万円を計上し、センター便りの発行、集中伝道、洋上セミナー子供禅のつどい、の共催、中国管区布教講習会のセンター委託等の実施を計画した次第であります。

更に、各宗務所の職員間の交流を密にし、管内の実務担当者会議を、年一回定期に開催し、各面で情報を交換し、学習を重ねてゆくことも考えております。

管内御寺院の挙宗一致の実をあげるためにも、前述の行事特に各種研修会、講習会には積極的に参加していただき、今後尚一層の御協力、御助言、御意見を賜わりますよう、切にお願い申し上げます。

▼ビデオ教材について▲

一、企画 曹洞宗中国管区教化センター  
一、製作 福山市アートビデオセンター

今年度、左記ビデオ教材を作成して、皆様の布教化のお手伝いをしたいと念願しています。前回「坐禅のしかた」同様、御協力御活用下さいますよう、お願い致します。

●「印度仏跡をたづねて」

釈尊を語るには、まず仏跡を訪ねよ、ということがよく云われます。しかしその実現は容易なことではありません。この教材を、寺族、徒弟子檀信徒の研修会等に活用して下さい。

●「子供参禅指導のてびき」

最近、青少年、児童の集団参禅が、静かなブームをよんでいます。子供のモデルによる、身近かな、子供にもよく解る「てびき」を作りたいと意欲をもちしています。

御期待下さい。

— 九月初旬完成予定 —

# 就任の御挨拶



岡山県宗務所長  
福田隆徳

今回宗務所長就任に当たっての、抱負を陳べよとの事で御座いますので、平素の所思の一端を披瀝してみるところといたします。

宗祖様の著述の中に「参禅辦道」なる語があります。現今では、弁、辦、等、皆同一に使用して居りますが、厳密には字義が皆異なるのであります。

辦とは「説文新附」に「力を致すなり」とある様に、努力する意であり、従って辦道とは宗祖の児孫たる我々に課せられた使命達成に対する努力を意味するものと解せられます。しかるに宗門には、古来より宗意

を曲解し、証上の修たる祖師の禪を無為禪と看做し研鑽を怠り、経巻は月を指す手段であるとして、之を輕視し、且又学者を貶し、学問無用論的考え方に終始する傾向がある様に見受けられます。

これは一には宗意の難解に対する絶望観に由来するかとも思われますが、宗意の充分なる理解なしには、教化布教は勿論、法式も画餅にすぎない感がいたします。

無道心者の道心論と軌を一にするものでありましよう。宗政の不手際も此の顕現に外ならぬでしょう。

布教教化は布教者個人の学力、気力、体力を基盤とし、然もその成果は当事者の努力に俟つことを多とするものであります。心の中に常に、「テーマ」を持ち、精進努力するところが、一箇半箇の接得に連り、且又、祖師への報恩の行事の一端にも連結することと思惟します。

中国の古典に「他山之石可以攻玉」とあります。各諸老師の精進を切に

祈り、満腔の御支援を希うものであります。

妄言 多謝 合掌



広島県宗務所長  
岡本卓也

春酣の候、諸宗師にはいよいよ御清適にて、山門護持・接化三昧に御精進の御事、法幸至極に存じます。

さて、昨年の所長選挙に当り、浅学非才、その器でない拙僧をご推挙頂き、諸老師のご法愛により無投票当選の栄を賜わり、光榮至極に存じております。この上は、今日までの社会的経験を生かし、公僕精神に徹し、県内宗門発展のため微力を捧げる覚悟であります。具体的には、

宗務所行政の迅速円滑、各種研修会学習会の充実、檀信徒に対する布教教化に格別尽力する所存です。複雑多様化する社会状況の中で、宗教回帰現象が起きて、る現状を分

析し、将来を明るく展望して、和合協力この重責を果したいと存じます。何卒ご支援ご法愛を賜りますよう切にお願い申し上げます。

合掌

曹洞宗  
教化センター  
心の電話  
〇八四八一五一一八六〇

いつでも・どこでも・だれでもダイヤルを回すと三分間法話が聞かれます。

◆原稿・カセットテープを送って戴ければ、放送日等、後日連絡いたします。  
一回分は原稿用紙一枚半(20×20)、時間にして約二分間です。



山口県宗務所長  
藤井太禪

諸老師ご清祥にて御接化のこととおよろこび申し上げます。

この度所長改選にあたりまして、無投票当選の栄を得、改めて職責の重大さを感じています。

ご法愛を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

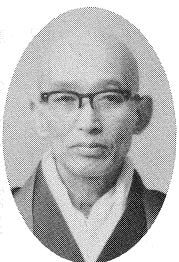
今、物質的には大変豊かになったと同時に、豊かになったが故に、夫々個人的要求の多様化が著しいものがあり、物については相当それに対応できていますが、精神的な面については、対応できていないのが現状であると思ひます。

教義の基本を堅持しながら、現在に生きる布教教化に対応していくけるように、お互いが智慧を出し合い推進していきたいと念願しています。

かに気の遠くなる思いです。不慣れのため、また初歩的なミスで県内寺院に再三迷惑をかけています。

鋭意努力して一日でも早く仕事の内容を把握して円滑に流れるようにと念願しています。さいわいに宗務所職員には夫々担当分野に明敏の師をあつめましたので安心していきます。別に抱負としてあります。

迅速正確 二、誠実 三、奉仕 四、和合 五、皆俱成仏道、以上五点を目標に精進し、具体的には一寺院一教化漸増を図る覚悟です。各老宗師一段のご理解とご法愛を希い挨拶といたします。



島根県第一宗務所長  
樋谷豊隆

昨秋改選の全国所長名簿を見るに、何れも働き盛りの方々にて私の様な老骨はまれである。年がいてもなく敢て就任したについては、それなりの思考に依ることである。

一言に云えば、次の三項目を管内宗行政に生かしたいからである。それは第一、管内の和平。第二、布教師養成。第三、梅花師範養成である。

第一に、過去の選挙に於ける「シコリ」を解消し宗憲の「和合と興隆を念願とする」ことを遵守する管内をつくること。

第二に、管内布教師の現況は老宿に片寄りすぎて次代を荷う若手の少いことを憂う次第、今のうちに布教師を養成しなければならぬことを痛感して、中布教とともに、所内独自の研修会を度度行い、各自が進んで参加研鑽して貰いたいものである。第三、これについても所内の現況は

他の宗務所と比較して、淋しい限りであり、特に青年僧の精進に期待すること大であります。

その為に当所では、曹青会長はかり、会員は布教師養成部か梅花師範養成部の一に属して研鑽を重ねて、各師が「次代は引受けました、おまかせ下さい」と云える充実した構成になりたいものであります。

これらの目的を達成するため、予算を増額し、宗務所職員の若返りを計り、各関係者一体となって宗行政に協力参加して頂くよう希う次第であります。

以上、私の就任の所感であります。



鳥取県宗務所長  
橘栄春

この度、宗務所長の職を引継ぐ事となり、今更ながら責任の重さを感じています。事務所変更以来僅か四ヶ月、事務量の多さと多岐にわたる事項にとまどい驚いています。つくづく前任者の労をしのび、前途はる



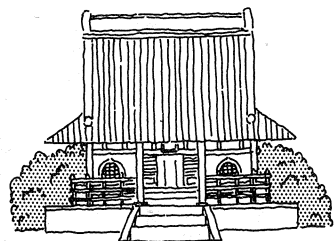
16mm映画・オートスライド フィルムライブラリー 一覧

【16mm】

【オートスライド】

Table with 4 columns: No., 題名, No., 題名. Lists 28 items including movies like '禅のいのち' and '大本山永平寺'.

★他にビデオライブラリーもございます。ご利用下さい。



◎遵守事項

- 使用報告書は映写後、必ず記入して下さい。
• フィルムは映写機の使用法を十分に心得た方が取り扱うようお願いいたします。
• フィルムが切れたり、傷のついた場合は必ずその箇所を明示して御返送下さい。
• フィルムの取り扱いは特に丁寧にお願いします。

岡山県宗務所 養命寺内
新見市足見三、一八二
〒七一九一二六
電〇八六七七四一四二二七二

山口県宗務所 建院内
新南陽市土井一五一一
〒七四六
電〇八三四一六二二四二七

島根Ⅰ宗務所 地久寺内
浜田市大辻町一〇九
〒六九七
電〇八五五二二二一四八六

◎特派布教師
岡山
苦田郡加茂町小中原四一
成興寺 小倉玄照
電〇八六八一六二一三〇二七

# 紙上法話

## 「殺すなかれ」は仏陀の教え

クドンの弟子らは  
つねによく  
めざめてあれば  
昼も夜も  
おのが生命を  
念うべし

クドンの弟子らは  
つねによく  
めざめてあれば  
昼も夜も  
ひとの生命を  
念うべし

(法句經)

「殺すなかれ」の不殺生戒は、仏陀の教えの第一歩である。己の生命の尊さに醒めて他の生命を尊び、いかなる微細な生命をも尊んで、「殺せといわれても、よう殺さない」温かい心のわかることが、お釈迦様の教えであります。

この教えに従って、どんなに生命を大切に、いとうても、人は必ず死ななければならぬ、遇うた者も亦必ず別れなければならぬ、これは動かすことのできない浮世の掟であります。こうした無常の世の中であればこそ、お互いに己の生命を尊び、他の生命を大切にしなければならぬのである。

戦後四十年、特に若い人のショックな犯罪を拾ってみると、行きずりの幼児を殺した中学生の日記帳に「人間も動物ではないか、動物が動物を殺して何故悪い」と書き

ちらしてあった。生まれたばかりのわが幼な児を、自分の手でしめ殺し自分の家のゴミ捨箱に捨てた二十二才の母親は「私が私のものを、私の自由意志で殺して何故悪い」と、くってかかったという。

親が子を殺し、子が親を殺し、夫が妻を、妻が夫を殺し、教師が教え子を殺し、教え子が教師を殺す、まことに恐ろしい、道徳不在、人命軽視、人間性の喪失の時代であります。

鳥 秋人という死刑囚の作った歌集「遺愛集」というのがあります。彼は幼少の頃両親に連れられて、満州から無一文で引き上げ、まもなく母を結核で亡くし、自分も結核性カリエスを患い、貧困のどん底で父親に育てられた。学校も休みがちであったが、中学校だけはどうやら卒業した。ある雨の降る夜、お腹がすいてたまらんで民家へ入って強盗をした。そして過ってその家の主婦を殺してしまった。二十四才の時であった。裁判の結果、その殺し方が残酷であったか、死刑を宣告された。拘留所の中で彼はしみじみと自分の短い一生を反省した。

そんなみじめな生活の中に、たった一つだけうれいしい思い出があった。それは中学の時一度だけ図画の時間に先生から賞められたことである。

彼はその吉田好道先生に手紙を書いた。先生の親切な御返事のおかげに、短歌が三首書かれていた。それから全く素養のない彼が歌作を始め、三十三才で処刑されるまで歌いつづけ立派な歌集を遺したのである。

刑場の露とはつべき身を惜しみ虫になりても生きたしと思ふ

これは死刑囚でなければ詠めない歌だと思ふ。死を宣告されて始めて生命の尊さが、ここまで切実に感ぜられたのであります。

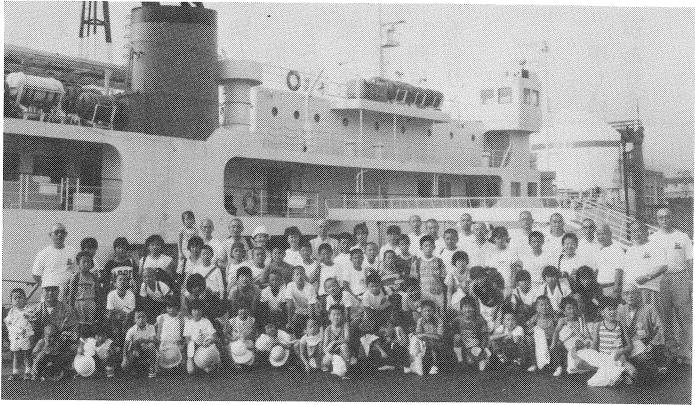
愛情に餓えし死刑囚たまわりし菓子に地に置き蟻を待ちたり

昭和四十二年十一月二日東京拘留所で処刑されたその前夜、かつての恩師と、過まって殺害した婦人の主人宛に懇切な遺書を残し、処刑されることだけがたった一つの罪の償いであるとして、立派に刑に服したのである。その処刑の前夜の彼の歌は、

この澄める心ありとは知らず来て死刑の明日にせまる夜 ぬくし

人間はどんな罪人でも立派な仏性を持っておる証あかしのような遺詠である。

## 第二回洋上セミナー子供禅のつどい



島根県飯石郡

佐野 史孝 (十才)

ぼくは、洋上セミナーにさんかしました。去年もさんかしたのでわかんないことは、ありませんでした。ぎげんや、楽しいアフリカンサフアリーにいったりして、とても楽しい

洋上セミナーでした。

とくに、きょ年は見ていなかったアフリカンサフアリーのもうじゅうショウが楽しかったです。他のじごくめぐりやマリンパレスは、きょ年いったけどもうじゅうショウは今年初めてでした。トラの火のわくぐりつなわたり、トレーナーをとびこえるジャンプ。しっばいするのとおもうことを、かんたんにするのでおどろきました。でも楽しいことばかりじゃなくて、苦しいぎげんもありました。お寺では、たたかれましたけどホテルでは、全員たたかれました。苦しいことや楽しいことのある洋上セミナーでした。

山口県萩市

村上あき子 (十一才)

わたしは、洋上セミナーで友達がたくさんできました。そして、その人たちと話をしたり、買い物をしたり、とてもたのしかったです。よかったのは、途中で、お店で食べ物やおみやげなどを自由に買ってよかったということです。それから、先生方のお話も、なる



広島県三原市

岡本 明子 (十才)

私は、これで洋上セミナーに行つたのは、二回目になります。一回目は、と中でねつが出たので、キャンプファイヤーができませんでした。ただどこんかいは、できました。一番たのしかった事は、キャンプファイヤーでした。その次に、マリンパレスの水族館でした。でも高崎山のさるが雨で見られなかったのが残念でした。一番つらかったのが、バスによつたことでした。アフリカンサフアリーに行つた時と、海地ごくに行つた時に、はきそうになりました。そして夕食の時、少ししか食べませんでした。でも、次の日、七月二十四日(木)の時には、よいませんでした。そのかわり、ねむたくなりました。そして、ぎげんも、つらかったです。しびれてしびれて、とてもいたかったです。でも、勉強になったのでよかったです。いろいろな先生たちのお話も勉強になりました。ながくて、あきたときもありました。だけど、だいたいよくなりました。おもしろかったので、また来年も行きたいと思っています。

# 申請書式

## 布教師・派遣申請 伝道車

曹洞宗中国管区教化センター統監 殿

昭和 年 月 日

申請者 住所

職・氏名

電話

### 申請事項

|        |   |          |     |     |
|--------|---|----------|-----|-----|
| 主催者    | 住所氏名  | 電話       | -   | -   |
| 教場     | 住所教場名   | 電話       | -   | -   |
| 布教年月日時 | 昭和 年 月 日  | 時間       | ~   |     |
| 行事内容   | 参集者   |          |     | 名前後 |
| 目的対象   |   |          |     |     |
| 伝道車欄   | 映写日時  | 昭和 年 月 日 | 時間  | ~   |
|        | 希望フィルム<br>(16mm映画)  | (1)      | (2) |     |
| その他    | (1)伝道車による街頭布教 (2)オートスライド教材<br>(3)マイク・アンプ等放送機一式 (4)カセットテープ教材 |          |     |     |
| 申請者通信欄 | 教場道順  |          |     |     |

# 利用の手引

## 一、申請の仕方

「派遣申請」用紙一枚を同封いたしますので、必要事項をご記入のうえ、コピー等にて、申請者又は教場主の控を作り、お早めにセンターまで送付して下さい。内容を確認してご返事いたします。

又、事情によっては電話による申請も受け付けます。

尚、ご希望の布教師・講師を要請する場合は、出来るだけ早期に申請願います。都合によっては他の人に変更したり、どうしても都合出来ない時は、要請をお受け出来ない場合も有りますので、ご了承下さい。

## 二、申請の種類

申し込みの受付に、二種類の区別があります。

### 1. 派遣

教化センターの年間布教計画に基づき行事と、宗門の公的機関(管区・宗門所・教区)等を通じての申請

がなされた場合を原則とします。この場合の布教師・講師・伝道車布教員の旅費と弁当代がセンターより支給されます。但し宿泊の必要ない場合は、申請者又は教場主の負担となります。

### 2. 特請

派遣以外の私的な要請によりセンターから布教師・講師・伝道車を出張させる場合を原則とします。この場合は一切の費用を申請者又は教場主に負担して頂きます。

但し、二ヶ月以内に申請が出され派遣としての申請する意向の有った時は派遣扱いとします。

※ 日曜日・祭日に企画した行事は、センターでも派遣の都合がつきにくいので三ヶ月以上の余裕を以て申請下さる様お願い致します。

## 三、派遣布教師・講師に対する謝礼について

当センターの運営委員会(各宗務

所長が組織する)に於いて決定する。—内規である—

### 謝礼

教場主 適当額の謝礼をする。  
センター 宗務庁の規定によって旅費実費、弁当代を支給する。

但し、年度ごとに運営委員会で検討を重ねてゆく。  
※特請については規定をしない。

## 四、センター管理のフィルム貸出しについて

### フィルム貸出しについて

教化センターの活動に支障のない場合に限り貸出します。使用料は無料とします。但し、輸送の場合は返送のみ使用者負担とします。貸出し期間はその都度、検討し決定致します。破損した場合はセンターの指示に従って頂きます。

### ※布教機器

- 伝道車(街頭布教・街頭広報)
- エルモ16mm映写機
- 北辰社16mm映写機
- オートスライド
- 放送機械一式

## テレホン法話 設置寺院

|        |         |          |       |
|--------|---------|----------|-------|
| 岡山県宗務所 | 笠岡市 威徳寺 | 086566-3 | 1180  |
| 広島県宗務所 | 大崎町 光徳寺 | 08466-4  | 40070 |
|        | 因島市 善興寺 | 08452-5  | 1010  |
|        | 三原市 松寿寺 | 0848-62  | 16049 |
| 山口県宗務所 | 新南陽市真福寺 | 0834-62  | 15252 |
|        | 山口市 禅昌寺 | 0839-27  | 13737 |
|        | 徳山市 原江寺 | 0834-25  | 12534 |
|        | 萩市 仏教団  | 0832-5   | 17710 |
| 鳥根県宗務所 | 松江市 竜覚寺 | 0852-23  | 10505 |
|        | 安来市 松源寺 | 0854-3   | 10668 |
| 鳥取県宗務所 | 会見町 大安寺 | 08596-1  | 12222 |
|        | 泊村 長清寺  | 08583-1  | 13301 |
|        | 東伯町 嶺松院 | 0858-5   | 13332 |
|        | 郡家町 大樹寺 | 0858-74  | 10556 |

テレホン法話の開設寺院数は昭和六十二年三月三十一日現在十四ヶ寺です。この外に設置されている寺院がありましたらご一報下さい。

アンケート中間報告

Table with 8 columns: Activity, 鳥取, 島 I, 島 II, 山口, 広島, 岡山, 計. Rows include 坐禅会, 眼蔵会, 夏季禅の集い, etc.

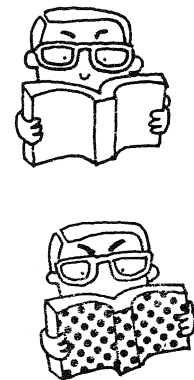
Table with 8 columns: Category, 鳥取, 島 I, 島 II, 山口, 広島, 岡山, 計. Rows include 教区数, 寺院数, 回収数, etc.

(曹洞宗中国管区)

「寺院実態調査表」

2052

昨年六月「曹洞宗中国管区寺院実態調査票」という調査票を各寺院へセンターだよりと一緒に送付し、ご依頼しました。直接センターへという回収方法によりました。その結果当教化センターにおいて、集計をしておりますが、(以上)の如くの回収状況となっております。中国管区一、一六七ヶ寺のうち、現在までのところ、三六九ヶ寺より回答がありました。しかし、まだ半数以上回収がない状況であります。更に未回収ご寺院におきましてはご協力下さいますようお願い申し上げます。



佛事の豆智識

焼香

仏教徒は仏様・御先祖様に供物として、生花・仏飯・燈明・湯茶等をお供えますが、その中で一番大切なものは清浄な香り高い香供養をすることです。それは仏様は香食といっておいを食べられるからなのです。果物でもお菓子でも、そのかがわしい香りを食べられるのです。

てさしあげる初香は、うやうやしう心をこめて頭辺にいただいて、ていねいにたきます。香炉の火を保つための従香は頭辺にいただかないで、そのまま香炉の中にくべることが正しい作法とされています。

近年多くの宗派が乱立して、その作法も種々雑多なことが言われていますが、經典の中に「初香をねんじ、従香はねんぜず」とあるように、原則的には焼香は一回、線香は一本立てるのが常識のようです。

ただし自分一人で焼香する場合一回だけではすぐ燃えつきしてしまうので、それを防ぐために二回三回とたくのです。これを従香といっています。自分が仏様のためにたい

お知らせ

◎教化センター発行資料紹介
(1)北海道センター
お別れにのぞんで

(2)東北管区教化センター
「新、葬儀受戒リフレット」

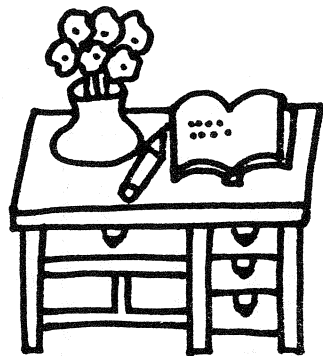
「なかよし地藏さん」
微笑は他人より先に
一〇〇枚一口 五〇〇円
「観音のしおり」
千体観音と十句観音経の意識
つき
一〇〇枚一口 五〇〇円
「信仰家庭」
五種類 一枚八円

(3)東海管区教化センター
「おりおりの法話」一〇三・五
各一、五〇〇円
(4)北信越管区教化センター
「心のノート」一〇四
各一三〇円

(5)中国管区教化センター
「授戒会のしおり」
一、〇〇〇円
ビデオテープ「坐禅のしかた」

●宗務庁発刊
「禅の風」一〇六号
一、二は 一、〇〇〇円
三、四は 一、二〇〇円
五は 一、〇〇〇円
六は 七〇〇円

「観音経に学ぶ」 六〇〇円
「茶の間の法話」 六〇〇円
「心をたがやす」 一、六〇〇円
☆以上の出版物、ビデオの取り扱いをしておりますので、ご用命下さい。
☆各所の講話・法話等で実際に話した結果、多くの方々に深い感銘を与えた話材の中から選択されたものです。



【管内ニュース】

◆岡山宗務所

毎年五十名を単位とした大本山永平寺に於ける子供研修会を実施して、今年で十三年目になります。本山一泊の厳しい修行の翌日は海水浴を主体とした二泊三日の行事であります。その成果の一例をあげますと、井倉小学校の観桜の宴の席上、お弁当を開いて一斉に箸を手にした時、この研修会によく参加する小西真理子という一少女が大声で叫びました。「校長先生、食事の前には合掌して頂きますという感謝の挨拶が大切です」と。

族の親睦、研修の希望が強まり、昨年若奥様、お嬢様、小中高の子女を対象に、青年会が主催して、寺院研修会が持たれるようになりまし

岡本卓也

◆島根第一宗務所

二月六日当寺に於て、石見町立精神薄弱者施設「くるみ学園」の障害者男女園生十四人（一七才〜二十八才）と職員七人が、第三回目の参禅会を開催された。

また寺族会の活動も活発で、年一回の研修はもちろん、料理研修、レクリエーション等、毎年数回の楽しい会を持ち、寺檀協力の大きな力となっている。

橋 榮春

◆山口宗務所

長門湯本の大本山徳持寺貫首（管長）梅田信隆様下をお迎えして五月二十日〜二十五日まで、宗務所、県曹青、梅花講、護持会の後援のもとに厳修される。この勝縁にあたり、二十三日には、寺族得度、在家得度が受けられるとのこと、ご希望の方は大寧寺へご照会をということである。

澤 真教

◆鳥取宗務所

去年の十二月十日、後藤又兵衛の墓のある鳥取市景福寺に於て檀信徒地方研修会があった。当日は早朝から冷えて受講者の出足が心配されたが、各教区長様のお世話で約二百名の参集をいただいた。講師には岡山県笠岡市威徳寺住職長田暁一師を迎え「宗門檀信徒としての自覚」と題し、午前午後二席の法話を聴く。

各教区では参拝も計画されているとのこと、盛会を祈る。

県青年会では、県下寺院の協賛を得て、七月二十四日〜二十六日（三泊四日）で「縁陰禅のつどい」が開催される。この会もすでに二十四回目を迎える。毎回各界の主要講師を招き回を重ねる毎に内容の工夫充実を図り、多数の若者の参加をえて継続実施されていることに敬意を表す。

藤井太禅

みな揃って頂きますと唱和し、和やかで賑やかな食事が始まりまし

岡本独宗

◆広島宗務所

広島県内では数年前から、寺院の縁起、歴史を明確にし、まとめようという気運が起り、中でも第八教区ではすでに教区内の寺院が資料を持ち寄り、第八教区寺院誌を完成し発刊しました。その他の教区でも、教区単位または寺院ごとにこの動きが具体化されつつあります。

一方、同じく数年前から、若い寺

◆島根第二宗務所

第一教区は、昭和二十年大洞良雲師を講師として、研修会を実施したのを契機として若い僧侶が集まり、自己研鑽の会「溪声会」を結成、以来今日まで研修、子供禅の集いを開催している。

松川 龍保

更に、第一教区護持会が昭和三十

一、一語一語ゆっくり、しかも解り易く努めて平易に体験を通しての話は、聴衆を魅了した。法話後質疑に移り、活発な意見が百出した。そのいづれもが愛宗護法の念に溢れ、宗侶として襟を正し拝聴すべき内容であった。反省点としては、一、より広く発言を促すには、如何にすべきか。二、県下全檀信徒代表を一堂に集め

藤井太禅

第3回 洋上セミナー子供禅のつどい

- 主催 曹洞宗中国管区管区長 管区教化センター統監
- 国内旅行業登録94号 (株)中国トラベル
- 旅行取扱

楽しくて為になる洋上セミナーを安芸の宮島を中心に開催します。みんなそろって坐り、考え、お勉強をしましょう。

- 期日 昭和62年7月21日(火)〜23日(木)2泊3日
- 締切日 6月末日
- 定員 100名
- 会費 大人 20,000円 小人 16,000円
- 申込金 5,000円(会費に充当)
- 参加者 小中学校男女生徒 (但し、3年生以下の低学年は保護者同伴にて申込み下さい)
- 申込先 申込金を添えて教化センター宛 〒722 尾道市東土堂町17-29 天寧寺内 曹洞宗中国管区教化センター TEL 0848-25-2855
- 附記・参加者募集用チラシ入用の方は必要枚数明記の上御一報下さい。

|       |                         |                           |                |
|-------|-------------------------|---------------------------|----------------|
| 7月21日 | 宮島口集合12:00              | 船                         | 宮島, ホテルにて研修(泊) |
| 7月22日 | ホテルにて研修, チャーター船にて洋上セミナー |                           | 宮島(泊)          |
| 7月23日 | ホテル                     | 宮島観光(厳島神社, 宮島水族館にてラッコ他見学) | 船              |
|       |                         |                           | 宮島口12:00 解散    |

申し込み書

洋上セミナー子供禅のつどいの研修旅行に5,000円を添えて申込み致します。

昭和 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_ 男・女 \_\_\_\_\_ 才 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

領収書

月 日

様

金 5,000 円也

取扱寺院 \_\_\_\_\_ 寺院 ㊞



第一回布教師養成講習会

主催 中国管区長 澤 真教
センター統監 長岡 徹宗

初心者で、将来布教を志す若い宗侶を対象としての講習会を開催します。
この講習会は、本庁教化部の協賛により、毎年継続開催します。

記

期 日 昭和63年3月1日～2日 1泊2日
場 所 島根第1宗務所管内
申 込 昭和62年9月末日までに、教化センター宛

● 中国管内全寺院配布の当紙面をかりて、早々に案内します。一定
の人員に達し次第締切りますので、早目に申込んで下さい。
申込をされた参加希望者に対しては、会場、その他詳細、後日連
絡します。

センター役職員

統監 長岡 徹宗

広島百三十一番 善昌寺内
電話〇八四七六二一三〇五四

主監

賛事 村上 邦雄

広島八十三番 摩訶衍寺内
電話〇八四八一三八一〇六五六

賛事 飯島 孝文

広島六十三番 長福寺内
電話〇八四五二一四一〇三九一

教化センター役員員の移動があり
ましたので左記の如くお知らせしま
す。

前任者 主監 大野恭史 師

賛事 鑑本智昭 師

鑑本師は二年一期、又、大野師は
寺務多忙のため、本年三月末日をも
って辞任されました。

このお二人のご奉職により、当セ
ンターも新しい体制づくりが出来ま
した。道念に感謝するとともに、心
から厚くお礼を申し上げる次第でこ
ざいます。

尚、鑑本師の後任には、昨年七月
二十五日付をもって、広島県因島市
長福寺徒弟飯島孝文師(昭和三十三年
三月生)が発令されました。

昨年のソフトボール中国大会で随
所に若さあふれるプレーで、私たち
ち人気者になりました。この若さを
もって教化センター業務に新風を巻
き起こしてもらいたいと期待してい
ます。それだけに、本人の精進努力
はもとより、管区内ご寺院のご法愛
とご鞭撻を、特にお願いいたします。



第三号 昭和62年4月1日発行
編集発行所

曹洞宗中国管区教化センター
尾道市東土堂町十七二九
天寧寺内

電話 〇八四八一三五二八五五
印刷所 イトウ印刷